

自 平成30年7月 1日
第26期 事業報告書
至 令和 1年6月30日

1. 営業の概要

当社第26期営業年度における小売業の国内景気は、経済の成長分が企業内に留保され、可処分所得が増えない中、ライフスタイルの変化に伴う電子商取引市場の更なる拡大の影響が強まる等先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような中、当地域においても、北近畿豊岡自動車道等、交通アクセスの改善による交流人口の増加、インバウンド効果も期待されていたものの、逆に消費活動の広範化が進み、また、地域における消費人口の増加が見えない中、隣接する国道バイパス沿線に24時間型スーパー、Yタウン施設前にドラッグストア、百貨ショップ等、同一商圈内に競合店舗が相次いでオープン、当社を取り巻く経営環境は大きく様変わりし、今後予断を許されない状況にあります。

このような状況の中、商業集積施設「やぶYタウン」の運営管理業務を中心に、農業特区支援事業、電力販売の取次代理店業務への取組、及び「JR養父駅」の管理受託業務を行い、地域の多くの皆様のご理解ご支援により、今期もなんとか堅実な経営を続けることができました。

特に、「やぶYタウン」につきましては地元店舗前通路、アーケード下の「憩いの広場」、照明機器のLED化等、将来を見据えたインフラ整備に取組み、より安心、安全で気持ち良く買い物できる環境づくりに務めさせていただきました。

5年目になります農業特区支援事業につきましては、地域内での「特産品」づくりに向けて、養父市6次産業化支援センターに工房を構える食品加工会社の協力のもと商品開発、販路開拓に向けての取組を進め、何とか1件でも成功事例に結び付け、今後より多くの地域の農業者が参加できる仕組みづくりを進めていきたいと考えております。

電力販売の取次代理店事業につきましては、新電電の力を借りながら、新たな事業提案の模索の日々ですが、大手企業の大きな壁に阻まれている状況です。

今後は、これまで以上非常に厳しい経営環境が予想されますのでYタウンならではの「複合型店舗」の力を結集し、今以上に地域の皆様の期待に応えるべき魅力ある施設づくり、養父町開発圏の将来を見据えた施設計画づくり等協議を進めながら、企業間体質の強化を図っていくべき努力する所存でございます。

もうひとつの事業であります「JR養父駅」の管理受託業務は、地域の重要な公共交通確保の一役を担うもので、利用者の増加につながらない厳しさはありますが、当社の地域での社会貢献としての重大さを痛感し堅実に業務を遂行してまいります。

なお、当期の利益処分案といたしましては、今期も2.7%の配当金を提案させていただきます。

当社が、より経営基盤の安定した会社を目指し、市民のための会社としての社会的責任を果たしていくためにも、株主の皆様の一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

以上、簡略ではありますが事業報告とさせていただきます。

2. 会社の現況

(1) 資本金の推移

	当年度末	前年度末
資本金	8,870万円	8,500万円

(2) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	2,000株
発行済株式の総数	887株
額面・無額面の別	記名式額面株式
1株の金額	100,000円

(3) 株主数 42名 (令和1年6月30日現在)

貸借対照表

(単位：円)

養父町開発株式会社

令和 1年 6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	42,478,350】	【流動負債】	11,128,255】
現金及び預金	38,216,293	未払金	1,608,241
未収入金	1,087,617	未払消費税等	1,007,000
前払費用	3,174,440	前受金	5,671,835
【固定資産】	162,691,998】	預り金	80,879
(有形固定資産)	(138,465,422)	未払法人税等	2,760,300
建物	32,782,115	【固定負債】	63,065,874】
建物付属設備	4,569,232	長期借入金	31,044,000
構築物	16,594,078	商業開発預り敷金	32,021,874
車両運搬具	1	【引当金】	34,355,000】
工具器具備品	65,445	修繕引当金	34,355,000
土地	84,454,551	負債の部計	108,549,129
(無形固定資産)	(674,984)	純資産の部	
電話加入権	74,984	【株主資本】	96,827,885】
差入保証金	600,000	[資本金]	88,700,000]
(投資その他の資産)	(23,551,592)	[利益剰余金]	8,127,885]
長期前払費用	23,531,592	利益準備金	3,937,910
保証金	20,000	(その他利益剰余金)	(4,189,975)
【繰延資産】	206,666】	繰越利益剰余金	4,189,975
上水道加入金	206,666	純資産の部計	96,827,885
資産の部計	205,377,014	負債・純資産の部計	205,377,014

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成30年 7月 1日

至 令和 1年 6月30日

養父町開発株式会社

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
Yタウン賃貸料	77,814,539	
Yタウン共益費	14,510,408	
駐 車 場 賃 貸 料	4,679,088	
有機農法事業売上	947,660	97,951,695
【売 上 原 価】		
Yタウン賃借料	38,360,180	
Yの警備・水道光熱費	8,452,439	
広 告 塔 賃 借 料	312,000	
仕 入 高	521,600	
Yタウン経費	10,643,599	
合 計	58,289,818	58,289,818
売 上 総 利 益		39,661,877
【販売費及び一般管理費】		22,971,633
営 業 利 益		16,690,244
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,472	
受 取 手 数 料	240,000	
雑 収 入	1,887,033	2,128,505
【営業外費用】		
支 払 利 息 ・ 割 引 料	351,828	
繰 延 資 産 償 却 費	40,000	
雑 損 失	127,255	519,083
経 常 利 益		18,299,666
【特別損失】		
修繕引当金繰入	10,000,000	10,000,000
税引前当期純利益		8,299,666
法人税住民税事業税		5,293,100
当 期 純 利 益		3,006,566

個 別 注 記 表

養父町開発株式会社

自 平成30年 7月 1日
至 令和 1年 6月30日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券……総平均法による原価法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・仕掛品・製品……移動平均法による原価法

商品・貯蔵品……総平均法による原価法

固定資産の減価償却の方法

税法に規定する償却期間で償却している。

引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるために、過去の貸倒実績率による繰入率によるほか、債権の内容を検討して計上している。

消費税の会計処理

税込方式で計上している。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上している。

中小企業会計に関する基本要領

2. 貸借対照表に関する注記

資産に係る減価償却累計額を直接控除した額 156,167,409 円

保証債務、手形遡求債務、重要な係争事件に係る損害賠償義務その他債務の注記

受取手形割引高 0 円

受取手形裏書譲渡高 0 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 887株

当事業年度末日における自己株式の数 0株

当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項(当事業年度の末日後行う

剰余金の配当のうち、剰余金の配当を受ける者を定めるための法第124条第1項に規定する基準日が当事業年度中のものを含む。)

平成30年8月27日の定時株主総会

配当に関する事項

配当財産が金銭の場合

金銭配当の株式の種類別内訳

配当金の総額

1株当たり配当額

2,700 円

基準日

平成30年 6月30日

効力発生日

平成30年 8月27日

4. 1株当たり情報に関する注記

純資産額 109,163円34銭

当期純利益 3,389円58銭

第2号議案

剰余金処分の件

利益処分案

科 目	金 額	
	円	円
【繰越利益剰余金】		4, 189, 975
【利益処分額】		
利益準備金	239, 490	
配当金 (2.7%)	2,394, 900	2, 634, 390
【次期繰越利益】		1, 555, 585

令和1年8月23日